

事務事業名	行政評価システムの推進事業		担当	総合政策部 総合政策課 総合政策係	
政策名	7	「行政経営づくり」～効率・効果アップ！～	施策名	5	健全な財政運営
成果指標	名称		単位	6 年度実績	
	方向付けした事務事業数及び施策数		事業・施策	267・41	
	今後の方向性で事業のやり方改善とした事務事業数		事業	69	
	行政評価システムを業務に活かしている職員の割合（係長以上）		%	89	
事業概要	行政評価システム構築事業は、平成14年度から外部コンサルタントによる専門的な指導を受けスタートした。成果を重視した行政運営の実現、行政財源の効率的な配分、市民に対する透明性の確保、職員の意識改革と能力開発の推進を目的とし、事務事業評価、施策評価、政策評価を実施している。評価結果は市のHPで公表しており、成果指標を把握するため、4月に市民意向調査を実施している。				
6 年度 実績・成果・課題	実績：令和2年度中に見直しを行った行政評価システムに基づき、行政評価を実施した。 成果：事務事業評価結果を実施計画策定シートに記載し、行政評価の結果内容を意識できるようにした。 課題：1. 評価結果が出る前に実施計画作成が始まり、振り返りが反映されにくい状況にあるため、実施時期等を見直す必要がある。2. 行政評価シートの内容が振り返りが多く、今後の方向性が見えにくい構造になっている。				
今後の方向性と 具体策	☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的絞込み ☐ 目的拡充 ☐ 事業統合廃合 ☒ 事業のやり方改善 ☐ 予算削減 ☐ 予算増大 ☐ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） 【具体的な改善案】 引き続き、実施計画策定シートに事務事業評価結果を記載し、行政評価の結果内容を反映させ意識できるようにする。 R7年度から行政評価の実施時期を4月から3月に前倒しすることで、実施計画作成時に事務事業評価結果を活用できるスケジュールに変更した。 R7年度の事業から新総合計画に沿った事業になるので、それを評価するR8年度の行政評価シートから、「振り返り」よりも「今後の方向性」を重視して記載できるシートにできるよう、シートの内容を検討する。				